

卷頭言 今日のディテール	9 14 16 19 20 22 24 26 28 30 32	門なきディテール城を遠く望んで 藤森 照信 北国の透明カーテンウォールと日除け 公立はこだて未来大学 ガラスによるルーバーと床下展示室ケース+照明化された空調ダクト 山本理顕設計工場 吊り上げ式可動床 広島市西消防署 山本理顕設計工場 樹木状の立体トラス屋根 県立北総花の丘公園 薄いアルミハニカム屋根とガラスのカーテンウォール 花と緑の文化館 飯田善彦建築工房 壮大なガラスのキャノピー 名古屋商科大学 守衛室 竹中工務店 リブガラスを用いた透明なDPGカーテンウォール NEC玉川ルネッサンスシティ(1) 木造ホールを取り囲む軽快な木の軸組 日建設計、大林組一級建築士事務所 半透明なガラスの箱を軽く支える NEC玉川ルネッサンスシティ(2) カーボン庇／薄さへの新手法 日建設計、大林組一級建築士事務所 東京大学弥生講堂 東京大学施設部、香山壽夫建築研究所 山梨学院大学樹徳館 パルフィ総合建築計画 横浜市磯子地域ケアセンター ワークステーション
特集	33	高齢者ための地域福祉施設—「自宅でない住宅」を提案する 編集委員：中村 勉、外山 義、 高橋公雄、三浦 研、 大井幸次 「施設から住まいへ」21世紀の高齢者の居場所のあるべき姿と、それを実現させる具体的なディテール事例を示す。 1 生命力をしづませない施設計画のために 2 住まいとしての環境で、文化的な生きがいをさがすこれからの施設 3 「自宅でない住宅」を実現させるディテール事例 施設を住まいにするディテール／暮らしの基本のディテール／自然とのふれあいを生むディテール／五感に働きかけるディテール／生きるよろこびを創り出すディテール／安心と安全のためのディテール
特集	97	自然素材と表現 ザ・フォーラム —ARAI MOUNTAIN & SNOW PARK 藤森照信+桑原裕彰 (竹中工務店設計部) 自然素材は考えられているほど優しくない。工業製品のように均一でなくひとつひとつ違っていたり、ときには暴れることもあったり、使う側にとってはむしろ困りものなのだ。そういう木や石や土が内に秘める困りもの“野生”を殺すのではなく、どのように生かして表現したか？最新の実作品に即して、発想から完成までをスケッチ、図面、写真で紹介する。
連載	105 113 121 129 137	「木組の家」入門 内部開口 松井邦夫・中山 章・渡邊 隆 伝統と環境に立脚しつつ真に豊かな生活文化を実現する「つくり手」としての「理念の技術」の習得をめざす。 住宅ディテール特注手法 8 外構 高井 實 自由な発想、自由な形態の創造を引き出すための特注手法、規格材の転用手法を探る。 ジョイント考一技のかたち 4 異素材を繋ぐ「仕舞い」 清水建設一級建築士事務所 技術的背景を考察しながら日常的ディテール用語をもって身近な建築で親しみやすく解説する。 仕事師の知恵と技 3 膜構造の伝道師 小松 清十・高嶋忠雄 専門能力の持ち主＝ディテールの開発者に焦点を当て人と技術を紹介する。 透けつつ閉じる住宅の開口部10 人 古谷 誠章 「間戸」と「隙間」を手がかりに住宅の内と外の関係を考える。